

小売自由化は民営化促進ではない

上越市ガス供給条例の全部改正

今議会には、市のガス供給条例の全部改正が提案されています。

これは、来年4月から都市ガスの小売が全面的に自由化されることを受けて、市のガス供給に関する規定を導管事業と小売事業に体系化して整理することが主眼の改正です。

電気事業では、現在は大手電力会社によって発電事業と送配電事業が一体の独占支配になっています。そこで、発電事業者と送配電事業者を分離することで、再生可能エネルギーの発電事業者への系統接続などが可能になります。

ガス事業に関しても、導管事業と小売事業を分離することで、他社の参入が可能になるなど一定の効果もあります。

しかし、小売自由化には注意が必要です。政府による小売り自由化は、電気・都市ガス・熱供給事業の市場を全面自由化することで10兆円を超える「総合的なエネルギー市場」を創出し、電気やガスなどこれまでの事業の垣根を越えた総合エネルギー産業づくりを目指すものです。

都市ガスと電気は、大口利用者向けに小売りの部分自由化が段階的に進められ、現在では両市場とも6割以上が自由市場となっています。一方、電力市場は地域独占の大手9社が圧倒的な支配力を有しているのに対し、ガス市場は都市ガスに従事する206社の大半が中小業者です。

問題は巨大化する市場を今後担うのは誰かという点です。

日本共産党の藤野保史議員は昨年4月16日の衆院本

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 525 2016年12月11日

連橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

会議の代表質問で、次のように指摘しました。

「圧倒的な資本力をもつ電力大手、石油元売り、総合商社、外国資本などが合併・買収(M&A)を繰り返して、競争どころか、かえって寡占化(独占)が進み、『規制なき独占』が生まれる」

上越市では、市民生活を守る立場から、水道事業と共に都市ガス供給事業を公営で行って来ました。このことで、収益のみを目的にせず、安易な値上げをしないことや、配管などの工事を道路などの工事と連携して行うことなどの効果をあげてきました。

こうした公的事业が、大手資本に吸収されでもしたら大変なことです。あくまでも、公営としてライフラインを守っていくことが必要です。

建設企業委員会の審査では、ある議員から、「この小売自由化には、事業を民間に委託するというのが背景にあるのではないか」との質問が出されましたが、ガス水道局長は、「電力の発送電分離と同様の考え方であって、導管事業と小売事業を分けて他事業者が参入できるようになり、消費者が自由に選べるようにはなるが、すでに当市では導管事業では賃借料をもらって配管を貸すということが出来る仕組みになっている。このことで直接的に民営化を進めるといふようなことではない」と答えました。

12月4日(日) 早朝までに完了

鳥インフルエンザウイルス感染による約23万羽の殺処分

これまで経験したことのないことだけに、不正確な情報や憶測で行動することは、くれぐれも避けたいものです。さて、当該養鶏場にとっては大変な天災です。市民の健康被害防止とともに、被災事業所の復旧や経営立て直しなど、必要な支援を迅速に行うことが求められます。

このままに経験したことのないことだけに、不正確な情報や憶測で行動することは、くれぐれも避けたいものです。さて、当該養鶏場にとっては大変な天災です。市民の健康被害防止とともに、被災事業所の復旧や経営立て直しなど、必要な支援を迅速に行うことが求められます。

ガス料金 約4.9%値下げへ 今後さらに変動も

市では、原料ガスの価格体系が変わったことを受けて、来年4月から都市ガスの価格を平均約4.9%値下げすることを提案しました。詳しくは下の資料(市議会建設企業常任委員会への提出資料)をご覧ください。

この値下げは、原料の輸入天然ガスの価格が国際原油相場と連動することになり、その後の価格変動にもなっており、現価格が以前の設定価格よりも下落してきたことによるものです。

したがって、今後の原油価格の動向によっては、さらなる変動も考えられます。また、そのときどきの原料価格の推移にしたがって毎月価格が変動する「原料費調整制度」によっても変わりますので、注意が必要です。

【料金改定の内容】

- ① 実施時期 平成 29 年 4 月 1 日
- ② 実質平均改定率 Δ 4.98%

※ 1㎡当たりの平均単価が 5 円 60 銭値下げ

<参考>1か月に 39㎡使用される標準家庭での料金比較(消費税込み)

改定案料金額	現行料金額	差額
4,538 円/月	4,771 円/月	Δ233 円/月

※ 現行料金額は、平成 28 年 6 月から 8 月までの LNG 輸入価格に基づく原料費調整後の調整単位料金で算定している。

③ 他事業者との料金比較

区分	事業者名	ガス料金	上越市との比較
公営	上越市(改定後)	4,538 円	—
私営	北陸ガス	5,288 円	+ 750 円
	東京ガス	5,253 円	+ 715 円
	大阪ガス	5,907 円	+1,369 円
公営	仙台市	6,203 円	+1,665 円
	金沢市	8,722 円	+4,184 円

※ 他事業者の料金は、平成 28 年 11 月検針分料金の金額(45MJ 換算)

市民の健康被害防止とともに 養鶏農家への支援が重要

市内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したことに對して、市は県とともに対策本部を立ち上げ、機敏に対応を開始しました。

当該養鶏場では、11月30日夜から殺処分を開始し、12月4日早朝までにすべて完了、6日までは埋却や鶏舎の消毒まで含めた一連の防疫処置を終了しました。

人への感染についての市の説明は、次の通りです。

鳥インフルエンザにか

かった鶏の羽や粉末状になった糞に含まれるウイルスが、人の体内に大量に入ってしまった場合は、ごくまれに感染することがあります。海外では人が鳥インフルエンザに感染した例はありませんが、これまで人から人へ感染した例はありません。日本では鳥インフルエンザにかかった鶏などの処分は徹底的に行われており、通常の生活などで病気の鶏と濃厚に接触することとはあまりないので、人が鳥インフルエンザに感染する可能性は極めて低いと考えられます。